

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（店 長）	来客数の動き	・来客数は増加しており、客が購入するものは肉などが多く、購買意欲が出てきている。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・従来のように、安ければ売れるという状況ではなく、値段と価値が合わないと販売量が増えない。
		スーパー（財務 担当）	販売量の動き	・既存店売上高及び来客数の3か月前からの伸び率を、前年同月と比べると、売上高が7.2ポイント、来客数が6.1ポイント良くなっている。
		衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・昨年は3月の中旬に近隣に大型のSCがオープンしたため、数字が落ち込んでいたこともあるが、3月の後半から春物の商品、特にアウター商品が大きくリードし、それに続き、インナー商品が男女とも堅調に推移している。
		旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・旅行への関心が高まっており、店頭への来客数、成約数も多くなっている。海外パッケージでは8月ごろまでの申込があり、ヨーロッパの他、中国・ベトナム・タイなどの東南アジア、韓国などが多い。国内旅行も沖縄・北海道を中心に需要は多く、団塊世代の退職者の動きも若干見られる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・四国八十八カ所参りの仕事がいっぱい入ってきている。このため、市内のタクシーが若干少なくなり、乗車率が高くなっているようだ。また、歓送迎会などもあったため、夜も人の動きが少し良くなっている。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・観光客数がかかり増加している。
		ゴルフ場（従 業員）	来客数の動き	・季節的な要因はあるが、昨年と比較しても若干伸びている。
	変わらない	商店街（代表 者）	それ以外	・アーケード商店街の空き店舗が増加しており、新規の出店者がいない。原因の一つは、アーケードを含む組合の負担金が多いことである。
		一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	販売量の動き	・今年のゴールデンウィークは曜日の並びが良かったため、帰省客、観光客が多い。その影響を受け、取引先からの注文もまずまずである。
		百貨店（営業担 当）	単価の動き	・以前のように、衝動買いは基本的にはないが、自分が必要とする物はじっくりと選び、かなり高額な物でも買うという傾向がここしばらく続いており、個人消費の変化がうかがえる。
		百貨店（営業担 当）	それ以外	・前年同月に比べ、来客数、売上高共に上回っている。ブランド商品、紳士服、宝飾、リラクゼーション等が健闘したが、美術、婦人服用品等が苦戦している。
		スーパー（予算 担当）	販売量の動き	・寒暖が入り混じった気候の影響から、春物衣料・初夏物衣料の動きが悪くなっている。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・郊外に県下で2番目の規模の大型SCがオープンしたため、商店街の客が流れている傾向があるものの、それらを差し引いても土日祭日の来客数が減っており、苦しい。
家電量販店（店 長）		単価の動き	・全般的に、買い回り客が非常に多くなっている。	
家電量販店（営 業担当）		来客数の動き	・客単価は、多少は上昇してきているが、来客数は前年並みまで届かなかった。しかし、冷蔵庫、パソコンといった商品に目を向ける客も増加している。	
乗用車販売店 （従業員）		お客様の様子	・3月決算を終え、販売する側の動きが悪くなっていることもあるが、客の購買動向が積極的ではなくなっている。商談が長引き、受注件数が減少傾向にある。現在、話題を集める新型車もなく、従来の車検対象ユーザーだけへの勧誘になっているのも、変わらない原因である。	
乗用車販売店 （管理担当）	販売量の動き	・ショールームへの来店も少なく、販売台数も少ない。		
乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・サービス部門の入庫台数は増加しているが、販売台数は依然少ない。		

		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・団塊の世代の退職による世代交代は着実に進んでおり、久しぶりに常連客が来て、会社の同僚とはなく、子供、孫を伴ってである。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・松山道後は『坂の上の雲ミュージアム』のスタートもあり、これから先良くなる可能性もあるが、今のところは客の動きは良くない。
		通信会社（支店長）	販売量の動き	・客の動きが鈍い。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・客単価は前年同月よりも上昇しているものの、来客数が伸び悩んでいるため、総売上は前年同月と比較すると微減である。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・春休みが終わってから、特に、土日の人出が少ない。平日も、日中はかなり人出が少なく、来客数の減少に歯止めが掛からない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・今のシーズンは草花や鉢植えがよく売れる時期であるが、市内にスーパーがたくさんでき、売場面積が増えた分だけ、各店の売上の伸びがかなり抑えられている。また、単価もかなり安値で推移しているため、売上が伸び難い。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店も自店も、共に客の買物頻度が減っており、全体の来客数が減少している。客の買い控えが進んでいる。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・来店しても公共料金の支払などが多く、買物をする客が少ない。また、ライバル店も増加傾向にあり、店自体の売上が低下してきている。客の流れをみても、単価が下がったり、無駄な買物をしないという傾向が見受けられる。
		その他専門店〔CD〕（店員）	販売量の動き	・ヒットをねらえる商品の動きが以前にも増して悪くなってきている。特に、発売直後の動きが鈍化してきている。
		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・パイが減少して行く中で、コスト縮減や効率化等も限界に近いとの話をよく聞く。新入社員採用もここ数年手控える、などの状況は変わらない。全体的な状況は悪くなってきている。
悪くなっている		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月の販売量が過去最低である。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・軽自動車以外の新車販売台数が、前年比で大幅にマイナスである。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・昨年の「二十四万石博」の影響もあるが、宿泊、飲食、レストランの利用客が激減している。先行きの予約も良くなく、かなり景気が悪くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・県外の人も入ってきており、街には人は出ているが、単価が低下している。また、サラリーマンの自転車等の通勤が増加している。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・為替の変動により、売上が上昇している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品である重曹電解水が、現在の環境の悪化で少しずつ認知され、受注量が増加してきている。
		建設業（経営者）	それ以外	・民間の見積が増加している。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・最近、民間の工場、倉庫、社宅の新築・増築・大規模改修など、設備関連の引き合いが増加しており、そのうち数件は成約に至っている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・百貨店の店頭での販売が伸び悩んでいる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・取引先の仕事の請負に動きが見られる。東日本より関西以西の景気が良く、その影響か、受注から納期までが短い傾向が見られた。先行車（予めユーザーのニーズを先取りした車の事前製作）などの対応もあった。
一般機械器具製造業（経理担当）		受注量や販売量の動き	・建設用大型クレーンの2006年度総需要は、前年比で約20%の増加となり、25か月連続で前年比を上回っている。	

	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一部の既存の客、工場の補修や工事等の仕事を見ると、やや減少している。特定のメーカー、電子部品・電子素材のメーカーは、受注が多くなっているが、全体的には変わらない。やはり、企業格差、業界格差が出てきている。		
	輸送業（支店長）	取引先の様子	・上旬の荷動きは良くなかったが、大型連休前の荷動きは活発であり、前年同時期より増加に転じ帳尻は合った。		
	通信業（営業担当）	それ以外	・大型量販店やスーパーのマネージャーとの会話では、数量限定販売などで、購入のために開店の1時間前から人が並ぶことが定例となってきたり、個人消費は回復しているとの声を聞くが、ホテル、百貨店からは景気の良い話がまだ出てこない。		
	公認会計士	取引先の様子	・今月の決算書・資産表を分析すると、各業種で前年比でマイナスのところが70%前後あるため、景気は回復していない。		
	やや悪くなっている	木材木製品製造業（経営者）	取引先の様子	・当社は特殊事情があるため、3月、4月は売上が伸びているが、全体的な市場状況としては、3か月前と比べると、随分悪くなっている。	
	悪くなっている	-	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（従業員）	求人数の動き	・求人企業数が徐々に増加している。	
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・新卒採用とは別枠でキャリア採用をしたいという企業が製造業、建設業、情報サービス業等で増えている。	
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・年度末のピークが過ぎれば、3か月前とあまり変わらない。	
		人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・年度変わりの時期なので、派遣新規契約開始の件数と、契約満了の件数がほぼ同数である。	
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・企業の求人意欲はおう盛である。	
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・直接採用の動きは活発化しているが、派遣登録は激減しているため、派遣業界にとっては非常に厳しい。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・各社とも、広告予算が減少している。特に、マスメディア離れの傾向があり、チラシやフリーペーパーといった安価な広告に走っている。ゴルフ場は売上増加の兆しがあるようであるが、県外からの客が押し上げている。	
	悪くなっている	-	-	-	-